

120425

SEIWA[®]
http://www.seiwa-c.co.jp

SINC
Style of Interface to the Next Communication



取扱説明書 保証書付き

ご使用前に必ずお読みください

※取り扱い説明書内のイラストは、製品の仕様変更により、実際の製品と若干異なる場合があります。
※デザイン及び仕様につきましては改良のため予告なしに変更することがございます。

接続機器名/	BT460/470/480
バスキー/	0000 (ゼロを4つ)

BT 460
BT 470
BT 480

BluetoothハンズフリーM10U
BluetoothハンズフリーM10UD

この度は弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。ご使用前に本書(取扱説明書)及び接続するBluetooth機器の取扱説明書をお読みください。

はじめに

※本製品はBluetooth対応の携帯電話/スマートフォンなどにお使いいただけますが、本書の中では接続機器を「携帯電話」と記載しております。
※本説明書の中でDC充電器の記載がございますが、DC充電器はBT470/BT480のみの付属品です。BT460にはDC充電器は付属しておりません。ご了承ください。

●本書ではボタンの押し方を以下のように矢印で示しています。

<p>短く押す</p> <p>▶例) 短く1回押す</p>	<p>短く連続で押す</p> <p>▶▶▶例) 連続で2回押す</p>	<p>長押しする</p> <p>▶▶▶▶例) 約4秒間長押しする</p>
-------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------------

*** セット内容の確認

●セット内容がすべてそろっていることを確認してください。



ヘッドセット
※イヤークラス(M)とイヤークラス(L)装着済



イヤークラス (S/L)



取扱説明書(保証書付き)
※本書です



DC充電器
※BT470/BT480に付属

*** 安全にご使用いただくために

●以下の警告、注意をお読みの上、正しくご使用ください。警告、注意に従わない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、接続する携帯電話も含めて当社では一切その責任、保証は負いかねます。

警告 この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

右の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

🚫 禁止(してはいけません)

🚨 強制指示(必ず実行していただくこと)を示します。

警告

🚫 火の中に投下したり、高温(50℃以上)の環境下に保管、放置しないでください。
ヘッドセットの内蔵充電電池を破裂、発火、発熱させる原因となります。お車のダッシュボードも、直射日光の下では高温となりますので、炎天下の車内への放置はやめてください。グローブボックス内も高温となる場合がありますので、長期間の車内への保管、放置もやめてください。

🚫 濡らさないでください。
濡れた手でDC充電器やUSBケーブルにさわらないでください。
本製品は非防水です。濡らしたり、雨、雪、霧などの状況下に屋外で使用しないでください。また、汗などで濡れている場合は拭き取ってから使用してください。水などが内部に入ると、火災、発熱、感電、故障、けがなどの原因となります。

🚫 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、強いショックを与えないでください。
ヘッドセットの内蔵充電電池を破裂、発火、発熱、漏液させる原因となります。

🚫 分解、改造、後加工をしないでください。
火災、感電、故障、けがなどの原因となります。また、ヘッドセットの内蔵充電電池を破裂、発火、発熱させる原因となります。ヘッドセットの内蔵充電電池は取り外ししたり、交換はできません。これらが起因する携帯電話機のトラブルに関して、当社は責任を負いかねます。また、DC充電器やUSBケーブルを分解、切断しての直接配線などは絶対にやめてください。

🚫 走行中の運転者による携帯電話及びDC充電器の操作は絶対にやめてください。
運転者による携帯電話の操作は事故などの原因となります。また、本製品の連続的な操作、取扱いも運転操作の妨げになりますのでやめてください。DC充電器への接続操作などは、お車を安全な場所に駐車しておこなってください。

🚫 小さなお子様(乳幼児)やペットなどには絶対に与えないでください。
小さな部品を飲み込むなど、事故のおそれがあります。

🚨 付属のDC充電器は、DC12V/24Vのマイナースーツ車で使用してください。
指定外の電源、電圧で使用するると、感電、発火、発熱、故障、けがの原因となります。付属のDC充電器は自動車用です。お車のシガーソケット電源以外でのご使用はおやめください。また、DC充電器をご使用する時は、車のバッテリー保護のために必ずエンジンをかけた状態で使用してください。

🚫 DC充電器及びUSBケーブルのコードを傷つかけたり、きつく結んだり、乱暴に扱わないでください。
感電、発火、発熱、故障、断線、けがの原因となります。

🚨 電気製品または高周波無線機器の電源を切ることが定められている場所(病院、交通機関、一部の工事現場など)では、各施設の指示に従ってヘッドセットの電源をオフにしてください。

🚫 飛行機に搭乗する際は、搭乗前にヘッドセットの電源をオフにして、機内では絶対に使用しないでください。
航空機の運航に影響を及ぼすおそれがあります。

注意

🚫 お車のエアバッグ拡張範囲に本製品や付属品を放置、保管しないでください。
エアバッグ作動時に影響が出たり、事故、けがの原因になります。

🚫 極端な低温(0℃以下)での保管、放置はやめてください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

🚫 DC充電器及びUSBケーブルを屋外(車外)や湿度の高い場所、高温または低温の状況下で使用しないでください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

🚨 ポケットやバッグに収納するときは、ヘッドセットの電源をオフにしてください。
メインスイッチが押されて、携帯電話が誤って発信をするおそれがあります。

🚫 クリーニングするときに研磨剤入りの溶剤は使用しないでください。
本製品に傷がついたり、表面の塗装部がはれるおそれがあります。

🚨 長期間使用しない場合は、携帯電話とつながるケーブルを解除して、高温や低温を避け、乾燥したホコリの少ない場所に保管してください。

🚫 DC充電器及びUSBケーブルを接続した状態で、ヘッドセットを装着しないでください。

🚨 プラグ類を抜く際は、ソケット/端子に対し必ず水平にゆっくり抜いてください。
回転させたり、斜めに無理に抜くと破損の原因になります。

🚨 DC充電器のヒューズが破損した時には、お車のヒューズボックスにあるすべてのヒューズに破損がないかを確認してください。
車の機能(ヘッドライト、空冷ファンなど)に支障がないことを確認してください。

🚨 DC充電器の接続は確実におこなってください。
使用される前に、DC充電器がお車のシガーソケットに奥まで確実に差し込まれているかご確認ください。また走行中にも振動によりDC充電器が外れることがあります。接触不良の状態で使用した場合、DC充電器やお車のヒューズ、シガーソケット破損の原因になります。(一部の車種では、シガーソケットが浅く接触不良を起こす場合があります。)また、走行中の振動により電源プラグの先端キャップが緩む場合がありますので、定期的に先端キャップを増し締めしてください。

🚫 付属しているDC充電器及びUSBケーブル以外で、ヘッドセットを充電しないでください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

🚫 DC充電器及びヘッドセットのLED光源を直視しないでください。
目の健康をそこねるおそれがあります。

*** 取扱い上のお願ひ

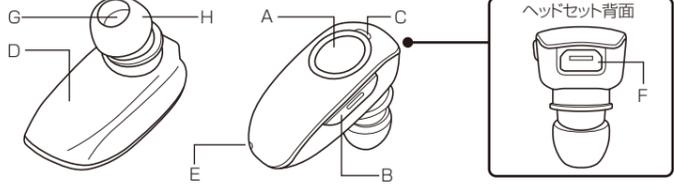
●ご使用にあたっては各都道府県や各地域の条例に従ってください。
●本製品の使用中に起こった、メモリーダイヤル及びデータの消失や通信不能などの付随的保証は一切負いかねます。
●本製品を含むBluetooth機器同士で通話をする、通話開始時に音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。
●本製品は充電中の待ち受けが可能となっておりますが、内蔵充電電池の寿命を早めるおそれがありますので、必要時以外は電源をオフにして充電してください。また、充電中はヘッドセットを耳に装着しないでください。

*** Bluetoothについて

●Bluetoothとは、携帯情報機器向けの無線通信技術です。接続機器とケーブルを使わずにワイヤレス接続し、音声やデータをやりとりすることができます。また赤外線などと違い、機器間の距離がおよそ10m以内(本製品と同じClass2 機器の場合)であれば障害物があっても利用することができます。(状況により通信感度は異なります)

*** 本製品について

●本製品のヘッドセットはBluetooth Version 3.0 Class2 に準拠、適合しておりますが、適合機種以外のBluetooth(バージョン)内蔵機器との相互接続は、その互換性によることから保証しておりません。
●適合可能な携帯電話に関する情報については適合表にてご確認ください。
●付属のイヤークラス、イヤークラス及びヘッドセットの充電ソケットキャップは使用状況によって寿命が著しく異なります。ご使用前の不具合や不具合を除去、製品保証の対象外とさせていただきます。
●内蔵充電電池は消耗品ですので、充電電池の劣化による通話/スタンバイ時間の短縮は製品保証の対象にはなりません。また、充電電池の交換はできません。
●仕様および外観は、改良のため予告なしで変更する場合がありますので、ご了承ください。



名称	機能説明
A. メインスイッチ	主に 電源のオン/オフ、通話操作、ペアリング などに使用します。
B. ボリュームキー	主に 音調量 などに使用します。
C. LEDインジケータ	青色LED内蔵。ヘッドセットの状態を表示します。
D. 充電電池 (内蔵)	リチウムポリマー電池。充電電池の交換はできません。
E. マイク	通話用マイクです。
F. 充電ソケット	USBケーブル(またはDC充電器)の充電プラグを接続します。充電ソケットキャップ付きです。
G. スピーカー	通話用スピーカーです。操作確認のメロディやビープ音も発します。
H. イヤークラス	交換可能です。(→「6. イヤークラス」を参照)

*** 対応プロファイル

●HFP(Hands-Free Profile)/ハンズフリープロファイル
●HSP(Headset Profile)/ヘッドセットプロファイル
※本製品は音楽再生/ワンセグ音声出力には対応しておりません(着信時の音・メロディは聞こえます)。

*** 商標について

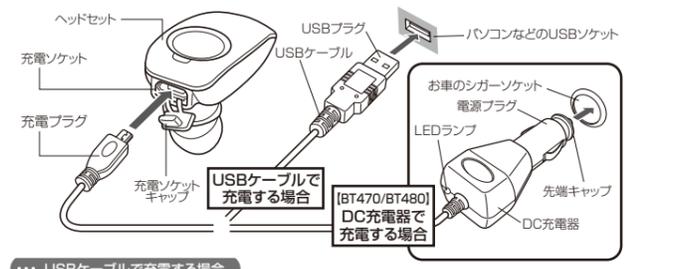
●Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の登録商標です。
●QRコードは株式会社アンソニーウェアの登録商標です。
●その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

2 充電する

*** 充電をはじめる前に必ずお読みください

⚠️ 充電には、必ず付属品(USBケーブル、DC充電器)を使用してください。

- ヘッドセットには充電電池が内蔵されています。使用前に十分に充電してください。
- 出荷時に約70%以上の充電を行っておりますが、はじめてご使用になるときに場合によっては満充電になるまで数分~最大で約2時間充電する必要があります(本体の充電電池残量によってはしめの充電時間は異なります)。
- 充電電池の劣化を防ぐため、6時間以上の充電は避けてください。
- 本製品ヘッドセットは充電中の待ち受けが可能です。充電中に待ち受けする場合は、満充電まで2時間以上かかる場合があります。また、充電が完了するとスタンバイモードになります。(→「4. 基本操作」参照)
- 充電プラグ、USBプラグには差し込み方向があります。プラグ形状とソケット/端子形状をよく確認してから接続してください。無理に差し込みむと破損するおそれがあります。プラグ類を外す際は、必ずプラグの根元をしっかりと持ち、水平にゆっくり抜いてください。
- ヘッドセットを長期間使用していきなり、充電電池が完全放電した状態では、LEDインジケータが点灯するまで時間がかかる場合があります。(数分かかる場合もあります)
- 充電が完了しましたら、必ず充電ソケットキャップをはめてください。充電中以外には必ず充電ソケットキャップをはめてください。



- *** USBケーブルで充電する場合
- USBケーブルのUSBプラグをパソコンなどのUSBソケットへ接続してください。
 - USBケーブルの充電プラグをヘッドセットの充電ソケットへ差し込んでください。
 - ヘッドセットのLEDインジケータが青点灯し、充電が開始されます。
 - ヘッドセットは約2時間で満充電になり、充電が完了するとLEDインジケータが消灯します。
- ※充電に使用するUSBソケットの電流値によっては、充電時間が長くなる場合があります。

- *** DC充電器で充電する場合 (車で充電) ※BT470/BT480のみ
- DC充電器はDC12V/24V対応(マイナースーツ車専用)です。
 - お車のシガーソケット内のゴミ、灰等をよく取り除いてください。汚れたままDC充電器を差し込むと接触不良の原因になります。
 - 必ず、あらかじめお車のエンジンをかけておいてください。
 - エンジン始動後、DC充電器をお車のシガーソケットに差し込んでください。振動等で抜け落ちることの無いよう奥までしっかりと差し込んでください。通電するとLEDランプが点灯します。
 - DC充電器の充電プラグをヘッドセットの充電ソケットへ差し込んでください。
 - ヘッドセットのLEDインジケータが青点灯し、充電が開始されます。
 - ※ヘッドセットが充電されない(ヘッドセットのLEDインジケータが点灯しない)場合は、DC充電器の電源プラグ部に内蔵されているヒューズが切れている場合がございます。ヒューズを確認し、切れている場合は同じものと交換してください(電源プラグの先端キャップをまわして取り外すと、中にヒューズが入っています)。
 - ヘッドセットは約2時間で満充電になり、充電が完了するとLEDインジケータが消灯します。
 - ※DC充電器のLEDランプは通電確認用です。充電が完了しても通電中は常に点灯しています。
 - ※走行中にDC充電器の電源プラグ先端キャップがゆるむことがありますので、ご使用前に増し締めを行ってください。

3 ペアリング

*** ペアリングについて

⚠️ ヘッドセットをはじめてご使用になる場合、接続する携帯電話とペアリングしてください。

- ペアリングは接続する機種ごとに設定方法が異なりますので、設定を行う前に必ず接続する携帯電話の取扱説明書(Bluetoothの項目など)を参照してください。
- 後述の「代表機種のペアリング手順」に一部の携帯電話機種の機種別設定方法を記載しておりますので参照してください。また、接続する携帯電話の取扱説明書「Bluetooth」の項目も必ずお読みください。また、「代表機種のペアリング手順」に記載のない機種につきましては、弊社ホームページをご確認ください。(右記参照)
- 携帯電話の機種(Bluetooth Ver.2.1+EDR以上)によってはペアリング手順/バスキーの入力が一部省略される場合があります。

ペアリングの手順

携帯電話	手順①	手順②	手順③	手順④	手順⑤	手順⑥
電源オン状態	Bluetoothメニューを選択	Bluetooth周辺機器サーチ	機器選択リスト BT460/470/480	バスキー入力 0000 (ゼロを4つ)	登録完了の表示	
電源オフ状態	電源オン	ペアリングモードLEDインジケータが青点灯	OK	OK		LEDインジケータが青点灯した後、スタンバイモード(自動接続完了)

① ヘッドセット(電源オフ状態)と携帯電話(Bluetooth対応機種/電源オン状態)を手元に準備します。

② 携帯電話のメニューからBluetoothを選択します。ヘッドセットのメインスイッチを4秒間長押ししてください。LEDインジケータが青点灯(約3分間継続)してペアリングモードになります(購入直後や、リセット後など、どのBluetooth機器ともペアリングされていない状態では、ヘッドセットの電源をオンにするだけでペアリングモードになります)。

③ ペアリング履歴が残った状態でペアリングモードにするためには、電源オフの状態からメインスイッチを約7秒間長押ししてください。

④ ヘッドセットのペアリングモード(LEDインジケータが青点灯)は約3分間継続します。(以下手順⑥までをペアリングモード中に完了してください) 携帯電話で周辺機器の検索(サーチ)をします。(例:「Bluetooth」→「ON/OFF設定」→「周辺デバイス検索」)

⑤ 携帯電話の画面に表示された検索リストの中から、ご使用になっている「BT460/470/480」を選択します。

⑥ 携帯電話で「バスキー」0000(ゼロを4つ)を入力します。(登録は「ハンズフリー」で行ってください) 「バスキー」入力前に「携帯電話の端末認証番号」を入力する機種があります。端末の認証番号とバスキーは異なりますのでご注意ください。端末の認証番号は、あらかじめ決められた番号もしくはお客様が設定した番号です。詳しくは携帯電話の取扱説明書を確認ください。 ※携帯電話の機種によっては「バスキー」の入力が必要な場合もあります。

⑦ ヘッドセットのLEDインジケータが3回青点滅して、ペアリングが完了します。携帯電話には「登録完了」などの表示が出て、Bluetoothアイコンなどが接続中の表示に変わります。ヘッドセットはそのスタンバイモード(自動接続完了→約5秒間隔の青2回点滅)になります。

※マルチポイント接続する場合は、→「9. マルチポイント」参照

ペアリングモードにする(ペアリング履歴あり) → (電源オフ状態から) メインスイッチを約7秒間長押し (ペアリング履歴なし) → (電源オフ状態から) メインスイッチを約4秒間長押し

購入直後や、リセット後など、ヘッドセットにどのBluetooth機器ともペアリング履歴がない初期状態では、ヘッドセットの電源をオンにするだけでペアリングモードになります。

4秒または7秒

ペアリングモードになるとLEDインジケータが青点灯(約3分間継続)します。ペアリングが成功するとLEDインジケータが3回早い青点滅し、その後スタンバイモード(自動接続完了→約5秒間隔の青2回点滅)になります。(→「4. 基本操作」参照)

ペアリングモード約3分間の間にペアリングが成功しない場合や、認証に失敗した場合などは、スタンバイモード(未接続→約5秒間隔の青1回点滅)になります。(→「4. 基本操作」参照)

- 🚨 付近に同じ製品が複数ある状況下ですと、「BT460/470/480」が複数表示されることがあります。また、周辺にいる他のBluetooth機器やワイヤレス接続のPCなども多い環境では、検索されない場合があります。その場合は何回か繰り返しお試しください。ペアリングが成功しなかった場合は、再度ペアリングを試みることも成功する場合があります。
- ◆接続する携帯電話の機種によっては、はじめてBluetooth設定を「オン」に設定する必要があります。
 - ◆一度ペアリングを完了すれば、基本的にヘッドセットの電源をオフにしてでもペアリングの履歴が残ります。電源をオフにした後、再度電源をオンにするとも自動的に接続を行います。(機種によっては、ペアリング済みの機器を「Bluetooth接続待ち」などの状態にした後、接続時に操作が必要となる場合があります。)
 - ◆本製品は8台までの携帯電話機とのペアリング履歴を記憶できます(8台の携帯電話とヘッドセットを同時に接続できるわけではありません。)

発売元

株式会社 **セイワ** 〒134-0092 東京都江戸川区一之江町3000番地

セイワホームページのご案内 (右のQRコードでもOK)

適合情報、ペアリング手順、新製品情報などが掲載されておりますので、インターネットをご利用の方は、ぜひご覧ください。
http://www.seiwa-c.co.jp

お客様サポートセンター (裏面記載のトラブルシューティングで解決できないとき)

お客様サポートセンター ☎ 0265(98)0139
受付時間/AM10:00~PM6:00 (土曜・日曜・祝日除く)
〒399-4603 長野県上伊那郡箕輪町三日町655

*** 代表機種種のペアリング手順

※必ず携帯電話/スマートフォンの取扱説明書を読んでから手順をご確認ください。携帯電話/スマートフォンのソフトウェア(バージョンアップ)により方法が異なる場合もあります。
※スマートペアリングの際、自動的に「スキー」入力画面が表示されたり、ペアリング手順の一部が省略または変更される場合があります(携帯電話のBluetoothがバージョン2.1+EDR以上であればバスキーの入力が省略されるなど)。
※「BT0000」には商品の品番(数字)が表示されます。
※手順は概略ですの「スキー」入力画面は必ずありません。確認及び選択時の決定キー操作などが省略されている場合があります。
※下記及び裏面に記載のない機種につきましては、弊社ホームページにてご確認ください。

iPhone (例: Apple iPhone4S/iOS 5.1)

- ホーム画面から[設定]アイコンをタップ(画面を押す)する。
- Bluetoothを[オフ]から[オン]にする。
- BT0000をペアリングモードにする。LEDインジケータが青点灯になる。
- 自動的にデバイスのスキャンが始まる。
- スキャンが終わると、デバイスのリストに「BT0000 接続されていません」と表示が出る。
- 表示されたリストのBT0000をタップする。
- しばらくするとBT0000接続されました」表示される。
- ヘッドセットがスタンバイモード(自動接続完了)になる。

Android Ver.2.3 スマートフォン (例: docomo ソニーエリクソン SO-01C [Xperia arc])

- ホーム画面から[設定](または[端末設定]や[本体設定])アイコンをタップ(画面を押す)する。
- 設定リストの中の[無線とネットワーク]をタップする。(リストが隠れている場合はスクロールして表示)
- Bluetoothを[オン]にする。
- BT0000をペアリングモードにする。LEDインジケータが青点灯になる。
- [Bluetooth設定]→[端末のスキャン]の順にタップする。
- スキャンが終わると、デバイスのリストに「BT0000 この端末をペアに設定する」という表示が出る。
- 表示されたリストのBT0000をタップする。
- [BT0000 ペアに設定して接続すると表示されるので選択してタップする。
- [BT0000 (電話オーディオ)]接続」などと表示され、ヘッドセットがスタンバイモード(自動接続完了)になる。

※SHARP製の一部機種の場合、初期設定では発信時にスマートフォンからBluetooth機器への自動切替えができずに「携帯電話からヘッドセットへの通話切り替えの操作が必要です(→「4. 基本操作」参照)」。[Bluetooth設定]内の[Bluetooth詳細設定]を選び、[常に「ハンズフリー」をON]にすることで、携帯電話を操作して電話をかけた際のヘッドセットへの通話切り替え操作を省略できます。

Android Ver.4.0.3 スマートフォン (例: SoftBank 富士通 1045H)

- ホーム画面から前面左下の[メニュー]キーを押す
- 開いたウィンドウの[端末設定](または[設定]や[本体設定])をタップ(画面を押す)する。
- 設定リストの中の[その他の設定]をタップする。([その他の設定]が隠れている場合はスクロールして表示)。
- Bluetoothのウィンドウが開くので、Bluetoothを[ON]にする。
- BT0000をペアリングモードにする。LEDインジケータが青点灯になる。
- [端末のスキャン](または[デバイスの検索]や[デバイスのスキャン])をタップする。
- スキャンが終わると、デバイスのリストに「BT0000 この端末をペアに設定する」という表示が出る。
- 表示されたリストのBT0000をタップする。
- [BT0000 (電話オーディオ)]接続」などと表示され、ヘッドセットがスタンバイモード(自動接続完了)になる。

※SHARP製の一部機種の場合、初期設定では発信時にスマートフォンからBluetooth機器への自動切替えができずに「携帯電話からヘッドセットへの通話切り替えの操作が必要です(→「4. 基本操作」参照)」。[Bluetooth設定]内の[Bluetooth詳細設定]を選び、[常に「ハンズフリー」をON]にすることで、携帯電話を操作して電話をかけた際のヘッドセットへの通話切り替え操作を省略できます。

※裏面にも別機種種のペアリング手順を記載しております。

